

2015年3月期 第3四半期

# 決算短信補足資料

2015年2月5日

株式会社 **JCL バイオアッセイ**

**JASDAQ**

証券コード:2190 売買単位:100株



# 売上高

## Point

連結売上高は前年同期に比べ減少  
日本は減少、米国は大幅に増加

(単位:百万円)

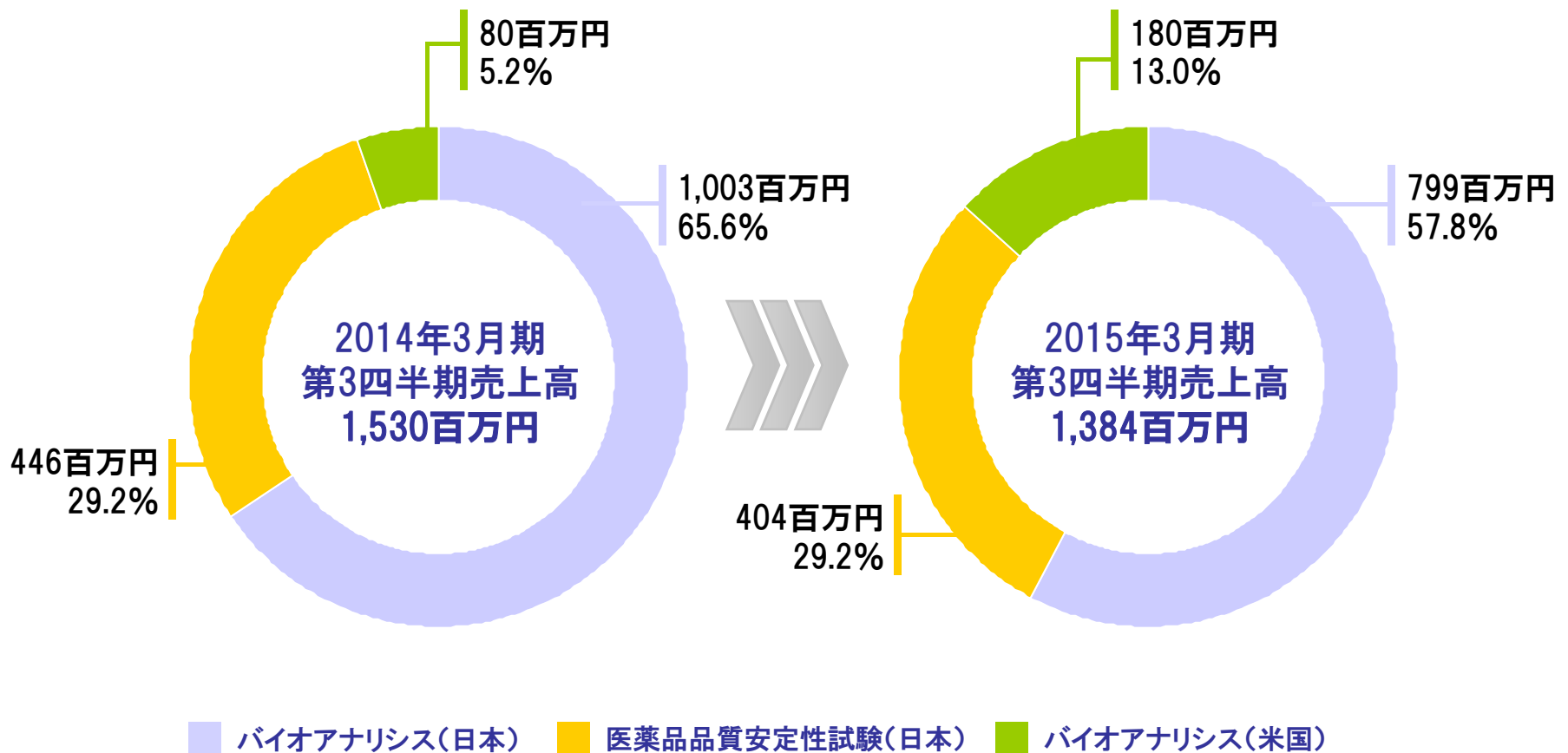
売上高		2015年3月期 第3四半期	2014年3月期 第3四半期	前年同期比
日本	バイオアナリシス	799	1,003	79.7%
	医薬品品質安定性試験	404	446	90.5%
単体・合計		1,204	1,450	83.0%
米国	バイオアナリシス	180	80	223.4%
連結・合計		1,384	1,530	90.4%



# 売上高構成比率

## Point

バイオアナリシス(日本)・医薬品品質安定性試験(日本)は減少  
 バイオアナリシス(米国)は増加





# 損益計算書

## Point

連結で減収、営業赤字。  
為替差益(234百万円)計上により、四半期純利益は前年を大幅に上回る

(単位:百万円)

単体	2015年3月期第3四半期		2014年3月期第3四半期		前年同期比
	金額	売上高利益率	金額	売上高利益率	
売上高	1,204	-	1,450	-	83.0%
売上総利益	361	30.0%	500	34.5%	72.2%
営業利益	102	8.5%	194	13.4%	52.6%
経常利益	92	7.7%	50	3.5%	182.5%
四半期純利益	54	4.5%	▲16	-1.1%	-
連結					
売上高	1,384	-	1,530	-	90.4%
売上総利益	300	21.7%	376	24.6%	79.9%
営業利益	▲46	-3.4%	▲4	-0.3%	-
経常利益	153	11.1%	124	8.1%	123.7%
四半期純利益	113	8.2%	56	3.7%	200.9%



# 連結貸借対照表

## Point

自己資本比率は34.4%と4.7ポイント上昇

(単位:百万円)

	2014年12月末	2014年3月末	増減額	増減率	主要因
資産	3,251	3,808	-557	-14.6%	
流動資産	1,575	2,101	-525	-25.0%	仕掛品の増加 115百万円 現金及び預金の減少 343百万円 売掛金の減少 216百万円
固定資産	1,673	1,703	-30	-1.8%	未収入金の減少 65百万円 リース資産の減少 50百万円
繰延資産	2	3	-1	-28.1%	
負債	2,132	2,679	-546	-20.4%	
流動負債	927	1,323	-396	-30.0%	前受金の増加 34百万円 有利子負債の減少 491百万円 未払法人税等の減少 37百万円
固定負債	1,205	1,355	-150	-11.1%	受注損失引当金の減少 37百万円
純資産	1,119	1,129	-10	-0.9%	利益剰余金の増加 113百万円 為替換算調整勘定借方残高の増加 123百万円
1株当たり純資産	268.42円	270.83円	-2.41円	-0.9%	
自己資本比率	34.4%	29.7%	-	-	
有利子負債依存度	43.7%	50.2%	-	-	



# 連結キャッシュ・フロー計算書

## Point

売上債権回収額の増加等により、営業CFは増加

(単位:百万円)

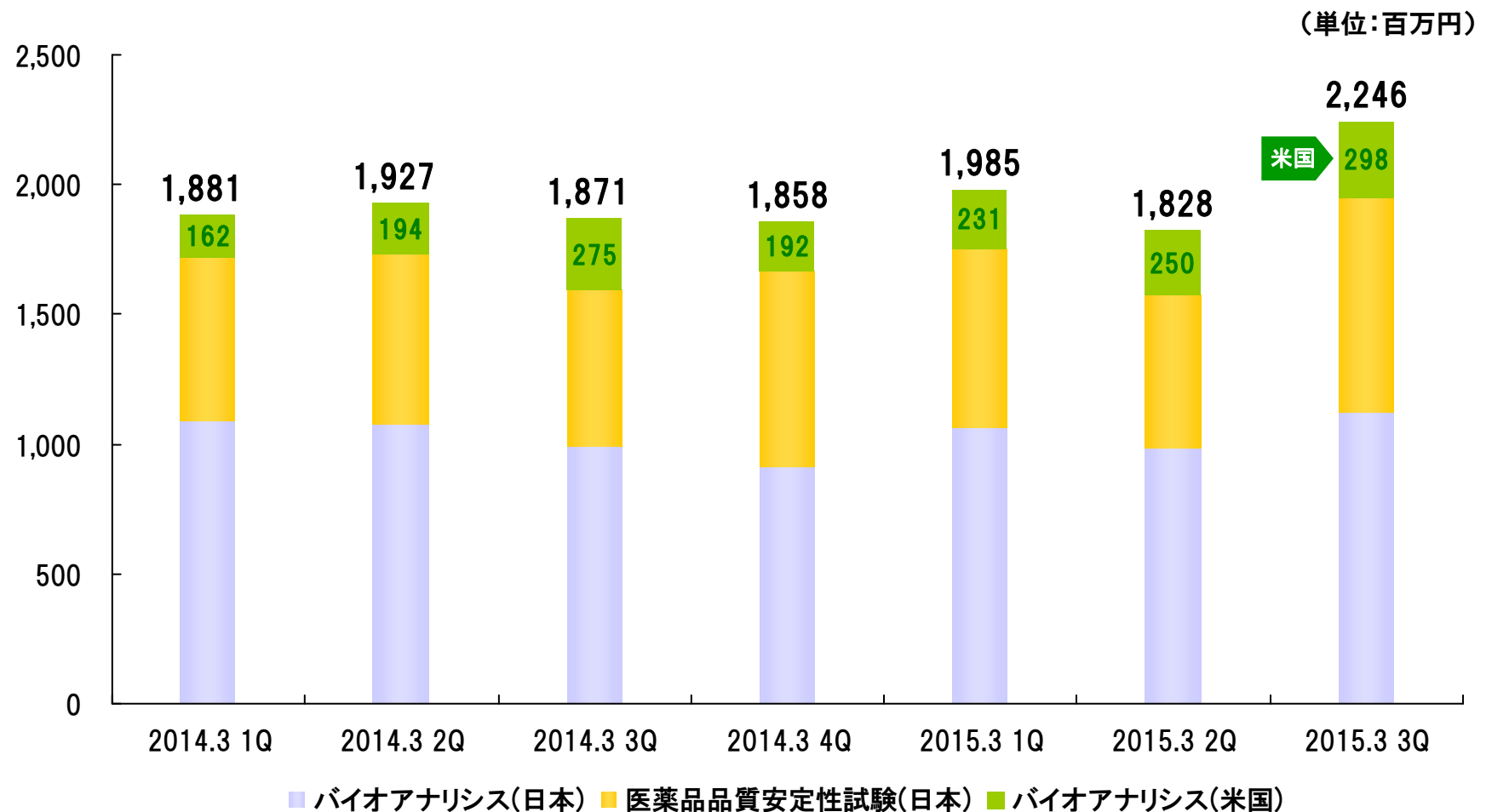
	2015年3月期 〔2014年4月1日から 2014年12月31日まで〕	2014年3月期 〔2013年4月1日から 2013年12月31日まで〕	増減額	主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	214	66	+147	売上債権回収額の増加、たな卸資産の減少により、前年同期を上回った
投資活動による キャッシュ・フロー	▲72	▲25	-47	固定資産取得による支出の増加により、前年同期を下回った
財務活動による キャッシュ・フロー	▲491	▲196	-294	株式の発行による収入がなかったことにより、前年同期を下回った
現金及び現金同等物 に係る換算差額	7	7	-0	
現金及び現金同等物 の増減額(▲は減少)	▲343	▲147	-196	
現金及び現金同等物 の期首残高	992	927	+65	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	648	779	-130	



# 受注残の推移

## Point

【日本】 バイオアナリシス・医薬品品質安定性試験ともに増加  
 【米国】 新規顧客獲得により、受注を伸ばす





# 日米二極での事業展開

## 日米に研究所を有する唯一の分析CRO

 **JCL バイオアッセイ**



**強み**

- 大手製薬会社や大学・研究機関との豊富な取引実績
- 超微量分析を可能とする技術力
- 超高感度分析装置を多数保有

 **JCL Bioassay USA, Inc.**



**強み**

- 米国・日系製薬会社との取引実績
- 経験豊富な日本人研究員が在籍
- LIMS等電子化対応済みの最先端ラボ



### 連携メリット

- ◆ 確立した分析法の日米相互活用
- ◆ 日米ともに高品質データを提供
- ◆ 日米両国で実施する試験の受注拡大

**新薬開発の効率化・スピードアップに貢献**



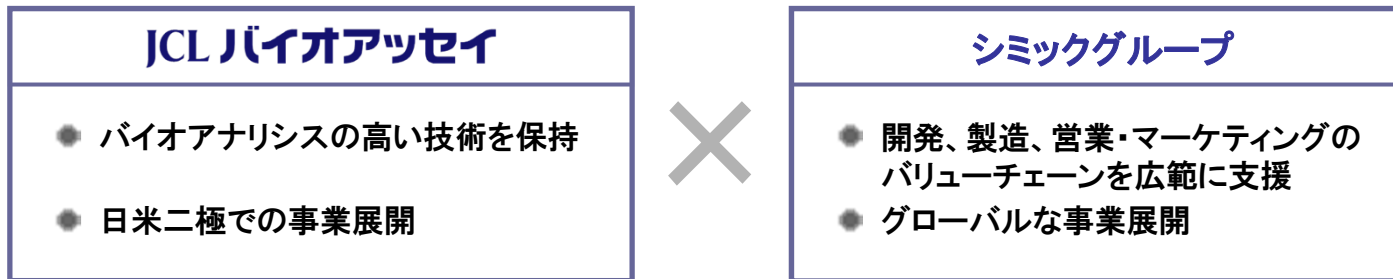


# シミックの完全子会社に



## 株式交換でシミックの完全子会社へ

2015年1月20日 臨時株主総会にて可決



資金面で完全一体化 ▶

- 品質レベルの統一
- 効率的な施設運営・試験管理の実施
- 従来以上に柔軟かつ機動的に資源配分を行う体制へ移行

### 株式の割当比率

当社の普通株式1株に対して、シミックの普通株式0.29株を割当交付

### 今後のスケジュール

- 最終売買日 2015年2月24日
- 上場廃止日 2015年2月25日
- 株式交換効力発生日 2015年3月 1日

シミックグループとして長期的な経営ビジョンや経営戦略を共有化し、一層の事業連携と競争力強化を図るとともに企業価値の向上に取り組みます



# 米国事業

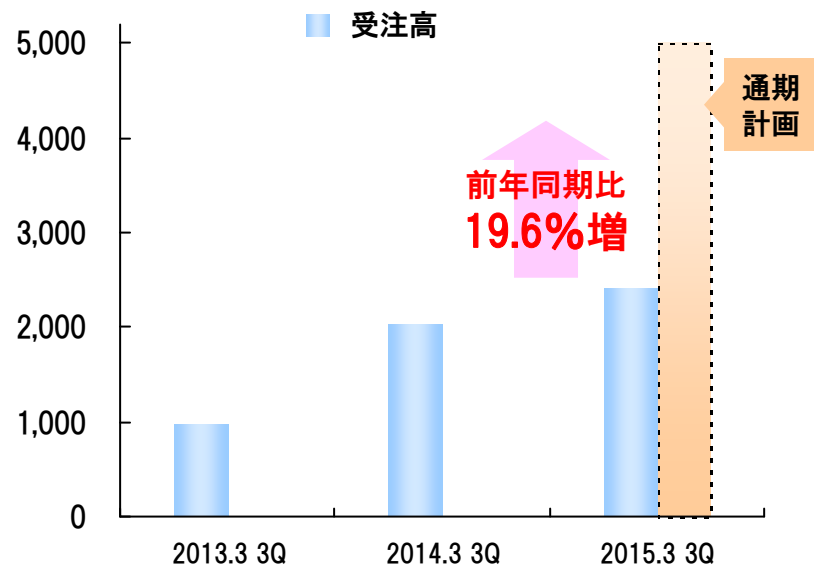


## JCL Bioassay USA, Inc.の状況

(単位:千ドル)

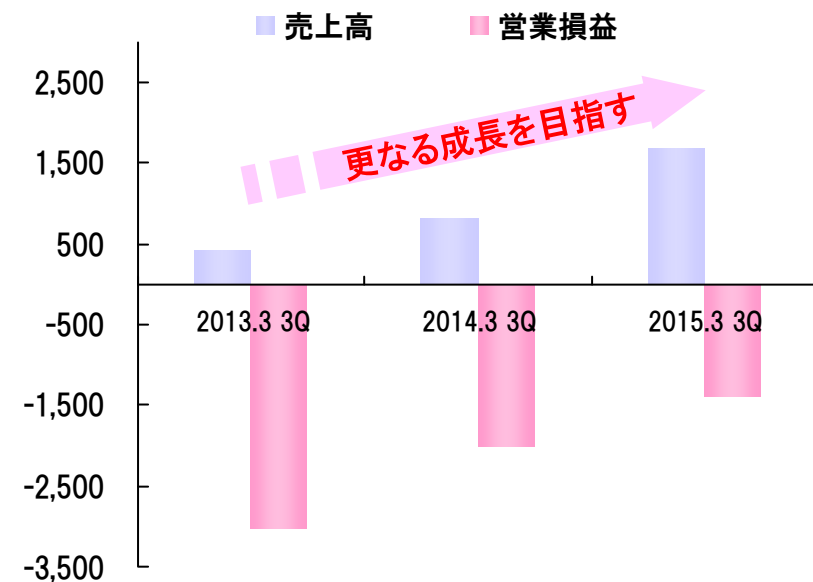
### ◆ 営業体制の強化

- ▶ 新規顧客開拓・既存顧客の継続的取引により前年同期比19.6%増



### ◆ 収益の改善

- ▶ 売上高は前年同期比106.9%増  
稼働率の向上により営業損失は縮小



**米国事業の営業黒字化を目指す**



# 新規メニュー

新薬開発の初期段階から有用なバイオマーカーを見つけることで、  
臨床試験を有効に行うことができる。

## 製薬会社の動向

医薬品の研究開発効率化への対策：バイオマーカー測定に注目

### 新規メニュー

- 低分子から高分子まで目的に応じたバイオマーカーの測定法を開発
- ECLを用いた特異的バイオマーカー分析
- LC-MS/MSを用いたリポドミクスの網羅的分析
- 微量なサンプル量での脂肪酸分画の定量

製薬会社の動向に合った新規メニュー確立を目指す



#### 用語解説

##### ※1 バイオマーカー

疾患等に起因して発現する化学物質の量・濃度を表す数値  
(例えば、生活習慣病の指標としての血糖値やコレステロール値等)

##### ※2 ECL

電気化学発光測定装置

##### ※3 リポドミクス

脂質(リポド)の解析のこと。脂質は特徴的な物理的性質を持ち研究対象とすることが難しいとされてきたが、測定環境の改善により可能となってきた

##### ※4 脂肪酸分画

脂質を構成する成分(脂肪酸)に分けること



# 経営課題への取り組み

## 1 米国事業の収益改善

- アライアンス等による営業力の強化
- シミックグループとの連携強化

➡ 受注拡大

## 2 競争力の強化

- シミックグループとの連携強化
- 研究機関等とのアライアンスの強化
- 試験別利益管理の徹底
- 電子ラボノートの導入

➡ 受注拡大

➡ ローコスト化

※5

## 3 財務基盤の強化

- 有利子負債の早期削減

**経営課題にグループ一丸で取り組み、経営基盤強化を目指す**



### 用語解説

※5 電子ラボノート  
試験情報を管理・共有する電子システム  
ラボの効率化と生産性向上に役立つ



## 本資料に関するお問い合わせ先



株式会社 **JCL バイオアッセイ**

管理部IR担当 TEL:06-6151-6700

FAX:06-6151-6707

ホームページ : <http://www.jclbio.com>

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。